

令和 3 年度

一般廃棄物処理実施計画



伊那市

I ごみ処理計画

1 計画の位置付け

本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項及び第2項並びに、伊那市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第11条の規定に基づき、令和3年度における一般廃棄物の処理計画を策定するものです。

上伊那広域連合（伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村及び宮田村）で策定した「ごみ処理基本計画」（平成31年3月策定、第5次改定）の推進及び実施のために、令和3年度の適正な処理に関する必要な事業について定めます。

2 計画の期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

3 計画の区域

伊那市の全域

4 ごみ処理の計画

(1) ごみ処理量

ア ごみ処理計画目標排出量

ごみの総排出量 令和3年度 15,572t/年

イ 発生量の見込み

種 類	令和2年度実績	計画排出量	前年実績対比	
燃 や せ る ご み	12,561t/年	12,430t/年	1%減	
家庭系ごみ	9,018t/年	8,930t/年	1%減	
事業系ごみ	3,543t/年	3,500t/年	前年実績並み	
燃 や せ ない ご み ・ 粗 大 ご み	966t/年	963t/年	前年実績並み	
家庭系ごみ	963t/年	960t/年	前年実績並み	
事業系ごみ	3t/年	3t/年	前年実績並み	
プラスチック製容器包装類	659t/年	660t/年	前年実績並み	
資 源 物	古 紙 類	1,037t/年	990t/年	4%減
	牛 乳 パ ッ ク	4t/年	4t/年	前年実績並み
	び ん 類	313t/年	313t/年	前年実績並み
	か ん 類	60t/年	60t/年	前年実績並み
	廃 食 用 油	5t/年	5t/年	前年実績並み
	P E T	66t/年	66t/年	前年実績並み
	衣 類	57t/年	57t/年	前年実績並み
有 害 ご み	24t/年	24t/年	前年実績並み	
乾 電 池	19t/年	19t/年	前年実績並み	
蛍 光 管	5t/年	5t/年	前年実績並み	
計	15,752t/年	15,572t/年		

(2) ごみ排出抑制のための方策に関する事項

ア推進体制

(ア) 伊那市連合衛生自治会と協働し、ごみの排出抑制を推進する。

イごみ減量化・資源化のための方策

(ア) 家庭系ごみに係る取組

区 分		内 容
家 庭 系	生ごみ処理容器・ 処理機購入補助	燃やせるごみの多くを占める生ごみの減量化・資源化の推進のため、生ごみ処理機等を購入する世帯へ補助金を交付する。
	「その他の紙」の 資源化の推進	燃やせるごみに含まれる資源化可能な「その他の紙」を古紙類へ分別排出するようごみの出し方説明会などで啓発を行う。
	食品ロスの削減	食品ロス削減推進計画について準備、検討し策定する。 家庭での食品ロスを削減し、ごみの減量化を図るため、「3きり（使いきり・食べきり・水きり）運動」について、市報やホームページ、ごみの出し方説明会などにより啓発を行う。
	広報誌等による啓 発活動の推進	(1)「市報いな」による定期的な啓発を図る。 (2)市のホームページを随時更新し、充実を図る。 (3)ケーブルテレビ、有線放送、文字放送等を有効に活用する。 (4)スマートフォン向けごみ分別アプリ「さんあーる」の普及促進により啓発を図る。 (5)「ごみ・資源物の出し方」冊子により啓発を図る。 (6)ごみを減らすための3R（リデュース、リユース、リサイクル）の啓発を図る。
	小型家電の分別回 収の推進	ボックス回収・宅配便回収を活用する事により資源化及び不燃ごみの減量化を図る。
	衣類回収の実施	衣類の拠点回収を年2回実施し、資源化及び可燃ごみの減量化を図る。
	水銀含有製品の適 正な処理	(1)年2回の河川一斉清掃に併せて廃蛍光管・廃乾電池等水銀含有製品を収集し、リサイクル等適正に処理を行う。 (2)体温計や血圧計等の水銀使用製品の窓口での回収を行う。
	廃食用油の拠点回 収	廃食用油を拠点回収し、民間業者がバイオディーゼル燃料としてリサイクル使用することにより、ごみの減量を推進し、処理施設への負荷の低減及び河川の環境保全を図る。
	粗大ごみ等のリユ ース	粗大ごみ等をリユース（繰り返し使う）することによるごみの減量化を推進するため、環境展でのフリーマーケットなどの開催を検討する。

家 庭 系	商品の過剰包装等の抑制	(1)商品の過剰包装抑制と簡易包装に対する市民意識の高揚及びその取組方法等について、企業・消費者団体等と連携し研究を進め、啓発を行う。 (2)COOL CHOICE(賢い選択)により、繰り返し使える容器(リターナブルびん等)に入った商品や詰め替え商品を積極的に使用するよう啓発を行う。
	プラスチックごみの削減	(1)買い物の際にエコバック・マイバスケットを持参することにより、レジ袋の削減を図る。 (2)使い捨てのプラスチック製フォークやスプーン、ストローなどを極力使用しないことによりごみ減量化を図る。 (3)経木や麦ストローなどプラスチックの代替品の使用などを検討する。
	ごみの出し方説明会の実施	(1)各地区等の要望に応じてごみの出し方説明会を開催し、市民に分別収集、リサイクルへの理解を深めてもらい、ごみの減量化、リサイクルを推進する。 (2)環境展等のイベントを活用して、ごみの分別クイズなどによりごみの分別や処理に対する理解を深めてもらう。 (3)ケーブルテレビや有線放送などによりごみ分別の周知徹底を図る。
	ごみ・資源物の分別の徹底	(1)「ごみ・資源物収集カレンダー」及び「ごみ・資源物とのつきあい方(冊子)」を配布し、分別の周知徹底を図る。 (2)外国人にも理解できるよう、外国語版のカレンダー等も作成し、配布する。 (3)自治会未加入者等には分別などの情報が伝わりにくいため、カレンダーや直接指導など積極的に啓発し、分別の徹底を図る。
	可燃ごみ、不燃ごみの分別の周知徹底	可燃ごみ、不燃ごみの分別について、広報や衛生自治会と協働しながら周知徹底し、ごみの減量化、資源化を図る。
	リサイクルの推進	(1)容器包装リサイクル法に基づく、ペットボトル、びん類、かん類、及び資源プラスチックの分別収集を広報誌やケーブルテレビ等を活用して推進する。 (2)ペットボトルを有効活用するため、キャップ及びラベルの除去の徹底を図る。 (3)びん類に陶器類等が混入しないよう説明会などにより徹底を図る。
	ごみ処理費用有料制度	ごみの減量化・資源化を推進するため、ごみ処理費用有料制度を継続する。

小学生・中学生を対象とした環境教育	<p>(1) 指定ごみ袋購入チケット回収事業の継続により、小学生の頃からごみ減量化・資源化の意識を培っていく。</p> <p>(2) 「ものを大切に作る心」を育てるために、小学校4年生対象の教育用副読本を発行し、伊那市のごみ処理の様子、出し方等を紹介し、ごみの減量化、リサイクルの学習に役立てる。</p> <p>(3) 小学生がごみ処理施設の見学を行う「エコツアー」を実施し、ごみ処理の過程を体験することにより、ごみの減量化等の意識付けを行う。</p>
-------------------	--

(イ) 事業系ごみに係る取組

区 分	内 容
食品ロスの削減	<p>(1) 宴会時の食べ残しを減らす「残さず食べよう！30・10運動」について飲食店への啓発を行い、市、飲食店がそれぞれ市民に呼びかけることにより運動の浸透と実践に結びつける。</p> <p>(2) 年末年始など宴会が多くなる時期を重点期間とし、各種広報を行うことにより「30・10運動」の一層の推進を図る。</p> <p>(3) 食品ロス削減推進計画について準備、検討し策定する。</p>
収集運搬業者へのアンケート・聞き取り調査の実施	上伊那クリーンセンターへ搬入されている事業系一般廃棄物について、定期的に展開調査を行うことにより、各事業所のごみの排出傾向などを把握し、産業廃棄物の混入防止や資源化可能な紙ごみの分別の徹底を指導する。
展開調査の実施	上伊那クリーンセンターに搬入されたごみの展開調査を実施し、内容物を把握することにより、ごみの減量に有効な指導を行う。
資源化可能な紙類の分別の徹底	燃やせるごみとして排出されている資源化可能な紙類について、再生利用するよう周知徹底し、ごみの減量化を図る。
搬入時の受付票の記入	搬入時に受付票を記入することにより、排出先を明確にし、減量化の指導などを効率的に行う。
事業系一般廃棄物と産業廃棄物の周知徹底	家庭から排出される廃プラスチック類は燃やせるごみに分別されるが、事業から排出される廃プラスチック類は、産業廃棄物であるため、上伊那クリーンセンターでは処理しないことを周知する。
商品及び容器包装の再資源化	販売した商品及び商品の容器包装の再資源化に努めるよう通知や依頼を行う。また、レジ袋の削減に向けたエコバック・マイバスケットの普及に向けた啓発への協力を呼びかける。

(3) ごみ・資源物の収集・運搬計画

ア 分別区分と収集・運搬及び中間処理内容

種 類	処理段階	収集・運搬	中間処理	最 終 処 分	
				埋 立	海洋処分
燃 や せ る ご み		委 託 収 集 許 可 収 集・自 己 搬 入	上 伊 那 広 域 連 合 委	上 伊 那 広 域 連 合 委 託	
燃 や せ ない ご み・粗 大 ご み		委 託 収 集 許 可 収 集・自 己 搬 入	上 伊 那 広 域 連 合 委	上 伊 那 広 域 連 合 委 託	
資 源 物	資 源 プ ラ ス チ ッ ク	委 託 収 集	上 伊 那 広 域 連 合 委		
	古 紙 類	委 託 収 集	業 者 に 委 ね る		
	牛 乳 パ ッ ク	委 託 収 集	業 者 に 委 ね る		
	び ん 類	委 託 収 集	上 伊 那 広 域 連 合 委		
	か ん 類	委 託 収 集	業 者 に 委 ね る		
	廃 食 用 油	直 営・委 託 収 集	業 者 に 委 ね る		
	P E T	委 託 収 集	上 伊 那 広 域 連 合 委		
	衣 類	委 託 収 集	業 者 に 委 ね る		
有 害 ご み	乾 電 池・蛍 光 管	委 託 収 集	業 者 に 委 ね る		

イ 収集計画

		収集区域の範囲	収 集 回 数	収 集 方 法	搬 入 先
燃 や せ る ご み		伊 那 市 全 区 域	週 に 2 回	ス テ ー シ ョ ン 方 式	上 伊 那 市 ク リ ー ン セ ン タ ー
燃 や せ ない ご み		旧 伊 那 市 区 域	週 に 1 回	ス テ ー シ ョ ン 方 式	ク リ ー ン セ ン タ ー 八 乙 女
		高 遠 町 区 域 長 谷 区 域	月 に 2 回		
粗 大 ご み		高 遠 町 区 域	年 に 4 回	抛 点 回 収	
		長 谷 区 域	年 に 3 回		
資 源 物	資 源 プ ラ ス チ ッ ク	伊 那 市 全 区 域	週 に 1 回	ス テ ー シ ョ ン 方 式	業 者
	古 紙 類	伊 那 市 全 区 域	月 に 1 回	ス テ ー シ ョ ン 方 式	業 者
	牛 乳 パ ッ ク	伊 那 市 全 区 域	月 に 1 回	ス テ ー シ ョ ン 方 式	業 者
	び ん 類	伊 那 市 全 区 域	月 に 1 回	ス テ ー シ ョ ン 方 式	ク リ ー ン セ ン タ ー 八 乙 女
	か ん 類	伊 那 市 全 区 域	月 に 1 回	ス テ ー シ ョ ン 方 式	業 者
	廃 食 用 油	伊 那 市 全 区 域	2ヶ月に1回	抛 点 回 収	業 者
	P E T	伊 那 市 全 区 域	月 に 1 回	ス テ ー シ ョ ン 方 式	ク リ ー ン セ ン タ ー 八 乙 女
	衣 類	伊 那 市 全 区 域	年 に 2 回	抛 点 回 収	業 者
有 害 ご み	乾 電 池・蛍 光 管	伊 那 市 全 区 域	年 に 2 回	抛 点 回 収	業 者

(4) 一般廃棄物の適正な処理及びこれを実施する者に関する基本的な事項

ア 一般廃棄物収集運搬の委託

伊那市が一般廃棄物収集運搬の委託をしている業者は次のとおりです。

◎可燃ごみ

氏名又は名称	代表者	住 所	備 考
(有)光商会	呉本 秋子	伊那市中央5175番地	旧伊那市区域
(有)共栄衛生舎	望月 正雄	伊那市上牧6231番地	旧伊那市区域・高遠町区域
(有)共栄メンテナンス	望月 貞子	伊那市中央7687番地	旧伊那市区域
(公社)伊那広域シルバー人材センター	伊藤 次雄	伊那市西町4896番地1	長谷区域

◎不燃ごみ

委 託 業 者	代表者	住 所	備 考
有賀 利治	有賀 利治	伊那市西箕輪4929番地2	旧伊那市区域
金田 商店	金田 太共	伊那市中央5301番地34	旧伊那市区域
株高山産業	高山 俊子	伊那市美篤10482番地1	旧伊那市区域
株ハクトーTOTALサービス高遠支店	山崎 春美	伊那市高遠町下山田910番地1	高遠町区域
(公社)伊那広域シルバー人材センター	伊藤 裕偉	伊那市西町4896番地1	長谷区域

◎プラスチック製容器包装

委 託 業 者	代表者	住 所	備 考
有賀 利治	有賀 利治	伊那市西箕輪4929番地2	旧伊那市区域
金田 商店	金田 太共	伊那市中央5301番地34	旧伊那市区域
株高山産業	高山 俊子	伊那市美篤10482番地1	旧伊那市区域
株ティーフラット	金 昭一	伊那市日影5808番地1	高遠町区域
(公社)伊那広域シルバー人材センター	伊藤 裕偉	伊那市西町4896番地1	長谷区域

◎資源物

委 託 業 者	代表者	住 所	備 考
(有)光商会	呉本 秋子	伊那市中央5175番地	旧伊那市区域 その他びん・PET・牛乳パック
(有)共栄衛生舎	望月 正雄	伊那市上牧6231番地	旧伊那市区域 透明びん・生きびん
(有)共栄メンテナンス	望月 貞子	伊那市中央7687番地	旧伊那市区域 茶色びん
株キタニ	木谷 進海	伊那市福島320番地1	高遠町区域 (缶・生びん・びん類・PET)
株高山産業	高山 俊子	伊那市美篤10482番地1	長谷区域(びん類・PET)

◎古紙類(収集・処理)

委託業者	代表者	住所	備考
(有)高山商店	高山 タカシ	伊那市前原8303番地3	旧伊那市区域・ 高遠町区域一部・長谷区域全域
株キタニ	木谷 進海	伊那市福島320番地1	旧伊那市区域
株ティーフラット	金 昭一	伊那市日影5808番地1	高遠町区域一部
株那須屋興産	池上 幸平	伊那市西町6612番地2	旧伊那市区域

◎粗大ごみ

委託業者	代表者	住所	備考
(有)いまむら	宮寄 邦俊	伊那市山寺2532番地2	単価は、1台当たり (高遠町区域)
株ティーフラット	金 昭一	伊那市日影5808番地1	単価は、1日当たり (長谷区域)

◎かん類(収集)

委託業者	代表者	住所	備考
(有)高山商店	高山 タカシ	伊那市前原8303番地3	旧伊那市区域
株キタニ	木谷 進海	伊那市福島320番地1	旧伊那市区域・高遠町区域
株ティーフラット	金 昭一	伊那市日影5808番地1	旧伊那市区域・長谷区域
株那須屋興産	池上 幸平	伊那市西町6612番地2	旧伊那市区域

◎廃食用油

委託業者	代表者	住所	備考
株公害技術センター	橋爪 麻人	伊那市西町6256番地	旧伊那市区域のみ
(有)光商会	呉本 秋子	伊那市中央5175番地	旧伊那市区域のみ
(有)共栄メンテナンス	望月 貞子	伊那市中央7687番地	旧伊那市区域のみ

イ 一般廃棄物処理業の許可

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条第1項及び第6項に基づき、一般廃棄物の収集運搬または処分を業として行う場合には、市町村長の許可を受けることが必要です。

伊那市が一般廃棄物処理業の許可をしている業者は次のとおりです。

一般廃棄物処理業（収集運搬）許可業者

氏名又は名称	住所又は所在地
株式会社アイ・コーポレーション	岡谷市川岸東一丁目4番23号
有限会社松岡産業	駒ヶ根市赤穂14616番地25
有限会社光商会	伊那市中央5175番地
株式会社公害技術センター	伊那市西町6256番地
株式会社ティーフラット	伊那市日影5808番地1
南重建設株式会社	伊那市美篤7904番地1
株式会社那須屋興産	伊那市西町6612番地2
有限会社マツムラ	上伊那郡飯島町飯島243番地10
有限会社高山商店	伊那市前原8303番地3
株式会社キタニ	伊那市福島320番地1
TPR トータルサービス株式会社	岡谷市赤羽一丁目1番32号
ジャーナル商事株式会社	飯田市高羽町三丁目1番地11
有限会社加藤産業	下伊那郡高森町下市田2422番地52
株式会社信州ウェイスト	伊那市西春近5806番地
有限会社城倉建材	上伊那郡宮田村3068番地
株式会社セイビ社	駒ヶ根市赤穂14番地865
有限会社共栄メンテナンス	伊那市中央5368番地2
清村永基（清村商店）	上伊那郡宮田村7611番地4
有限会社恵比寿産業	駒ヶ根市赤穂14番地672
株式会社ビジニナル・サービスセンター	駒ヶ根市赤穂1019番地2
鄭 震雄	伊那市高遠町芝平812番地
有限会社タカハ	飯田市松尾明7714番地1
株式会社南信美装	諏訪市大字湖南3122番地1
川島 龍潤	駒ヶ根市赤須東1番55号
有限会社栄南サービス	上伊那郡箕輪町大字中箕輪12285番地1
有限会社丸中産業	上伊那郡南箕輪村5609番地2
鶴山稔（鶴山商店）	上伊那郡箕輪町大字中箕輪2661番地
株式会社BISO	伊那市東春近549番地3
有限会社信和ビルサービス	上伊那郡辰野町大字赤羽664番地38
直富商事株式会社	長野市大字大豆島3397番地6
株式会社イナック	上伊那郡宮田村5339番地

(公社)伊那広域シルバー人材センター	伊那市西町4896番地1
有限会社遠藤産業	上伊那郡辰野町大字伊那富2156番地3
株式会社ハクトートータルサービス	上伊那郡南箕輪村沢尻8362番地4
有限会社成山商店	岡谷市川岸東五丁目2番19号
株式会社吉川商店	岡谷市湖畔一丁目7番4号
松永 義夫	伊那市山寺2225番地
株式会社あずさ環境保全	松本市波田2019番地
有限会社ファットエヴァー	伊那市富県3429番5
有限会社南商店	上伊那郡箕輪町大字中箕輪12346番地
株式会社金岡商店	上伊那郡宮田村5450番地50
有賀 利治	伊那市西箕輪4784番地
宮原 達也	諏訪市中洲3670番地9
株式会社マルケイ	飯田市松尾上溝3033番地3
田島建設株式会社	上伊那郡中川村片桐5158番地
株式会社光商会	木曾郡木曾町新開2294番地1
關 成男 (エフォート)	上伊那郡宮田村1037番地1
株式会社JACK	上伊那郡飯島町田切480番地1
有限会社イグチ美装	上伊那郡宮田村6861番地1
キョーセイブレーン	上伊那郡南箕輪村5939番地1
有限会社竹原建材	飯田市上郷飯沼3282番地1
有限会社いまむら	伊那市山寺2532番地2
平澤林産有限会社	伊那市西春近4105番地
丸忠リサイクル株式会社	上伊那郡飯島町飯島152番地1
曲淵 広和	伊那市西春近8877番地3
宝資源開発株式会社	長野市青木島町青木島乙661番地
田中 博人	伊那市西箕輪4000番地135
日本環境プラン	上伊那郡飯島町飯島120番地45 (長野支社)
金田太共 (金田商店)	伊那市中央5301番地34
特定非営利活動法人くれよん	飯田市座光寺5807番地 (事業所・事務局)
株式会社メディカルサービス松本	塩尻市大字洗馬字下平491番地1
清水解体工業株式会社	伊那市西春近638番地1
富士見産業株式会社	諏訪郡原村18653番地1 (長野支店)
株式会社バイオエコロジー信州	駒ヶ根市中沢4117番地
上島商事株式会社	上伊那郡辰野町大字伊那富4588番地1
有限会社信濃環境衛生舎	茅野市湖東6188番地2
有限会社アクト	駒ヶ根市赤穂16439番地1
田中通商株式会社	長野県伊那市西箕輪2127番地6
ドルフィン株式会社	長野県上伊那郡辰野町大字辰野1602番地4

一般廃棄物処理業（処分）許可業者

氏名又は名称	住所又は所在地	許可品目
株式会社信州ウェイスト	伊那市西春近 5806 番地	廃プラスチック類、木くず
株式会社キタニ	伊那市福島 320 番地 1	金属くず、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、ゴム・がれき類
株式会社 ティーフラット	伊那市日影 5808 番地 1	廃プラスチック類・古紙類、金属くず、紙くず、木くず、ゴム
株式会社那須屋興産	伊那市西町 6612 番地 2	木くず、繊維くず、ゴムくず、廃プラスチック類、金属くず、紙くず、ガラスくず、がれき類、コンクリートくず、陶磁器くず、再生資源物、粗大ごみ、廃乾電池類、廃食用油、廃蛍光管類、廃計測器類、動植物性残渣、厨芥類、燃えがら（灰類）、汚泥
有限会社高山商店	伊那市前原 8303 番地 3	廃プラスチック類、金属くず、紙くず
平澤林産有限会社	伊那市西春近 4105 番地	木くず
上伊那森林組合	伊那市東春近 1604 番地 1	木くず
株式会社ハクトートータルサービス	上伊那郡南箕輪村 8362 番地 4	廃乾電池類・廃蛍光管類、不燃物
有限会社 ファットエヴァー	長野県伊那市富県 3429 番地 5	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、ビン類、陶磁器くず
株式会社バイオエコロジー信州	駒ヶ根市中沢 4117 番地	木くず

ウ 許可方針

(ア) 一般廃棄物収集運搬業

一般廃棄物の収集運搬については、現在、許可している業者の処理能力において十分な処理が可能であることから、一般廃棄物収集運搬業の新規の許可については、原則として行いません。ただし、次の場合は許可を行います。

- ・市外で収集したごみを市内の処理施設や処理業者に運搬する等、市内において収集を行わない業者の申請
- ・更新の許可申請を失念していた等の理由に基づき、許可期限の満了日までに更新許可申請をしなかった業者の申請
- ・既存個人許可業者が法人化する場合、又は、既存法人許可業者が合併する場合の申請

(イ) 一般廃棄物処分量

原則として新規の許可を行いません。ただし、適正処理することが確実であり、かつ、伊那市内の既存処理施設において処理が困難である廃棄物を扱う場合には、許可を行います。

(ウ) 許可方針の見直し

許可方針については、毎年度策定する伊那市一般廃棄物処理実施計画の策定時に検討し状況に応じて見直すこととします。

エ 中間処理施設の概要

項目	施設の名称	上伊那クリーンセンター	クリーンセンター八乙女
	処理施設の所在地	伊那市富県3790番地	箕輪町大字中箕輪3819番地
処理施設の内容	全連続燃焼式	破碎・圧縮－堅軸回転	
	流動床式ガス化溶融炉	選別－全機械式・5種類選別	
処理能力	118t/日(59t/24h×2炉)	40t/日(5h)	
稼働予定日数	358日	268日	
稼働処理能力	31,860t/年	10,720t/年	
備考			

オ 中間処理施設の搬入見込み

		搬入方法	搬入量	残渣量	処分先
燃やせるごみ		委託	8,255t/年	373t/年	CC八乙女 最終処分場 群馬県吾妻郡草津町 最終処分場
		許可	3,508t/年		
		自己搬入	679t/年		
燃やせないごみ・粗大ごみ		委託	527t/年	383t/年	三重県、埼玉県、飯島町他 最終処分場
		許可	3t/年		
		自己搬入	427t/年		
資源物	資源プラスチック	委託	660t/年	—	再生業者
	古紙類	委託	990t/年	—	再生業者
	牛乳パック	委託	4t/年	—	再生業者
	びん類	委託	313t/年	—	再生業者
	かん類	委託	60t/年	—	再生業者
	廃食用油	委託・直営	5t/年	—	再生業者
	P E T	委託	66t/年	—	再生業者
	衣類	委託	57t/年	—	再生業者
有害ごみ	乾電池・蛍光管	委託	24t/年	—	処理業者

(5) その他

ア ダイオキシン類の抑制

一般廃棄物の分別（可燃物・不燃物）の徹底を図り、ダイオキシン類の発生抑制に努めるとともに、自家焼却禁止に対する住民の理解と、環境保全の推進のため広報をしていく。

II 生活排水処理計画

1 生活排水処理計画

(1) し尿・浄化槽汚泥・雑排水汚泥処理量

	排出量	前年度対比(実績対比)
し尿	6,297kℓ/年	6.8%減
浄化槽汚泥	9,794kℓ/年	14.7%減
家庭雑排水	248kℓ/年	27.0%減

(2) 収集運搬計画

種類	処理段階	収集・運搬	中間処理	最終処分	
				埋立	海洋処分
し尿	許	可	伊那中央行政組合		
浄化槽汚泥	許	可	伊那中央行政組合		
家庭雑排水	許	可	業者に委ねる		

(3) し尿・浄化槽汚泥・雑排水汚泥収集回数及び収集方法等

	収集区域の範囲	収集回数	収集方法	搬入先
し尿	6,863人	定額制	定時収集	伊那中央衛生センター
		従量制		
浄化槽汚泥	18,458人	年に1回	定時収集	伊那中央衛生センター
家庭雑排水	伊那市	2ヶ月に	定時収集	業者に委ねる
	全区域	1回		

(4) 中間処理計画

ア 処理施設の概要

項目	施設の名称
	伊那中央衛生センター
処理施設の所在地	伊那市西春近2560番地
処理施設の内容	好気性消化処理方式
処理能力	200kℓ/日
稼働予定日数	365日
稼働処理能力	73,000kℓ/年
備考	26,800kℓ/年

(5) 生活排水処理の概要

	処理する区域	処 理 す る 面 積	処 理 す る 人 口	備 考	
合 併 処 理 浄 化 槽	旧伊那市区域	公共下水道事業認可区域及び 農業集落排水事業採択区域を 除く市内全域	1,717基/年 (4,791人)		
	高遠町区域		38基/年 (95人)		
	長谷区域	農業集落排水事業採択区域を 除く全域	30基/年 (67人)		
農 業 集 落 排 水	旧伊那市区域	・西春近南部 (諏訪形、下牧、赤木、表木)	80ha L=23.9km	1,900人	平成7年3月10日
		・美篤東部 (笠原、芦沢、南割、横町、千年町)	47ha L=15.6km	1,080人	平成7年3月22日
		・西春近小出南部地区 (宮の原、白沢、中村、南小出)	24.4ha L=10.8km	520人	平成8年3月28日
		・西春近小出北部地区 (山本、東方、村岡、上村、城)	35.7ha L=12.2km	570人	平成10年3月26日
		・春富地区(榛原、原新田、 共栄、中組、北福地、桜井、貝沼)	72.3ha L=27.3km	1,690人	平成10年3月26日
		・福地地区 (北福地、南福地)	61.6ha L=23.5km	1,200人	平成12年3月27日
		・手良地区 (八ツ手、下手良、中坪、野口)	55ha L=30.1km	2,760人	平成17年3月25日
	高遠町区域	・勝間 (堀、西和手、共信、滝沢、原勝間)	14.5ha L=4567m	200人	平成2年7月7日
		・上山田 (引持、金井、芝平、三栄)	28ha L= 6043m	630人	平成7年4月28日
		・新栗		95人	平成5年4月1日
		・宮原 (宮原)		80人	平成6年4月1日
	長谷区域	・黒河内 (和泉原)	3ha L=1.0km	190人	平成12年4月1日
		・溝口 (中山、原組、尾田屋、上城、南郷)	13ha L=6.9km	890人	平成13年12月1日
		・市野瀬 (下村、町屋、上村、間倉、柳原)	10ha L=2.0km	410人	平成15年2月1日
		・非持 (日向、中組、宮の上、原組、上組)	17ha L=6.2km	860人	平成17年4月1日

	処理する区域		処 理 す る 面 積	処 理 す る 人 口	備 考
公 共 下 水 道	旧伊那市区域	・伊那処理区	1,102ha	27,070人	全体計画 26,390人 1,286ha H元～H42
	高 遠 町 区 域	・西高遠地区 (千年町を除く) ・東高遠地区 ・小原地区、下山田地区 ・長藤地区 (の場・弥勒[新栗除く])	190ha	3,090人	平成5年3月25日 (供用開始日)
特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業	旧伊那市区域	・美篤処理区(公共関連)	149ha	4,910人	全体計画 4,700人 305ha H元～H42
		・竜東北部処理区(公共関連)	105ha	1,860人	全体計画 1,810人 105ha H元～H42
		・小出島処理区	82ha	1,440人	平成9年3月26日 (供用開始日)
		・大萱処理区	230ha	5,670人	全体計画 5,440人 230ha H7～H42
		・殿島処理区	197ha	4,670人	全体計画 4,470人 330ha H元～H42
	高 遠 町 区 域	・長藤地区(板山から栗田) ・藤沢地区(台殿から水上)	48ha	790人	平成10年3月25日 (供用開始日)
雑 排 水 簡 易 浄 化 槽	旧伊那市区域	全域		805基 (2,173人)	
	高 遠 町 区 域			2基 (5人)	
	長 谷 区 域	全域		2基 (5人)	